



平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」



事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 綾部市立綾部中学校 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	本校 第1 学年生徒 男子107名、女子97名 計204名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（オリンピック・パラリンピック教育講演会） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（オリンピック・パラリンピック教育講演会） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	(1) リオパラリンピックの経験から講演していただくことで、国際的な場で活躍することの意義や素晴らしさを学び、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて展望を持たせることに繋げる。 (2) パラリンピックにしかない、ゴールボールを実際に体験することで、スポーツの多面的・多角的な楽しみ方を学ばせる。
5 取組内容	(1) 事前学習 資料を使って事前にオリンピック・パラリンピックについて、今回体験するゴールボールについて学習した。  (2) オリンピック・パラリンピック教育講演会 ゴールボールの元日本代表コーチ、現国際審判員として活躍されている『新居 平康 (にい よしのり)』さんに、講演を1時間と、ゴールボールの体験を1時間していただいた。  <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

<p>6主な成果</p>	<p>講演や体験を通して、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて展望を持ち、スポーツの多面的・多角的な楽しみ方を学ぶことができた。</p> <p>また、実際にゴールボールの体験ができたことで、視覚障害に対する理解が深まり、視覚を失うことでどれほどの不自由さが生まれるのか、視覚を奪われた際に聴覚がどれほど大切な感覚となるのか、周囲のサポートの大切さ、などを学ぶことができた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>ゴールボールという馴染みのない、パラリンピック独自の種目ということで、種目の特性や東京パラリンピックに向けての課題について、事前学習の時間を持ってから講演・体験に臨ませた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>8主な課題等</p>	<p>体験を含む形での教育講演会となったため、全校生徒での実施が日程・時間・場所の都合により実現できなかったことが課題として挙げられる。</p> <p>また、選手として活躍されている（されていた）方にも来ていただき、選手だからこそ話せることや、デモンストレーションなどもあれば、より学びの多い教育講演会になったと感じる。</p> <p>今回は、体験があったため、体験生徒のケガ防止のためにサポーターなどを準備する必要があった。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>現段階では未定である。実施する場合は、どの種目で講演・体験をするのか、誰を講師として選定し依頼するのか、その依頼手段や実施時期・場所などをどうするのか、など決めるべきことが多い。</p> <p>実施することにより得られる成果が多いため、前向きに検討したい。</p>